

令和4年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	05 生きがい ー市民のみんなで学ぶ、地域で学ぶを推進しますー		
重点プロジェクト		”オールふじみ野” まちづくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和5年6月1日	
関連課	学校教育課、社会教育課			
目標	夢が広がり、生涯を通して学び続ける環境づくりの推進に向けて、多様なニーズを踏まえた市民の生きがい学習への参加機会の創出と支援を行うとともに学んだ経験を地域に還元する仕組みを構築します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 生きがい学習環境の整備・充実</p> <p>○市民大学ふじみ野をはじめとする様々な生きがい学習の環境整備を進めます。</p> <p>○各世代に応じた講座の開設など、市民のニーズに応じた学習メニューを充実させ、学習活動を支援します。</p> <p>(2) 生きがい学習の地域還元</p> <p>○市民大学ふじみ野の修了生や生きがい学習ボランティア人材登録制度などを活用し、学びの成果を地域に還元する仕組みを構築します。</p>			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	生きがい学習受講生数					
		説明	生きがい学習まちづくり出前講座、子ども大学ふじみ野、生きがい学習ボランティア派遣による学習の参加者は、市民の生きがい学習を推進する指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	360	380	410	440	470	500
		実績値	297	163	39	339	286	
	指標2	指標名	市民大学ふじみ野の修了生の活動実績数					
		説明	市民大学ふじみ野を受講し、その知識や技術を活かして地域活動に参加した回数。受講後、学んだ経験を地域へ還元する指標となるため。(平成28年度からの実施事業。指標の数値は累計)					
		単位	回					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	20	30	45	60	80	100
		実績値	0	8	66	108	159	
	指標3	指標名	生きがい学習ボランティアの活動実績数					
		説明	生きがい学習を支援するボランティアの活動実績数。市民による生きがい学習の機会を創出する指標となるため。(平成27年度の一部制度を改正。指標の数値は平成27年度からの累計)					
		単位	回					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	7	10	15	20	25	30
		実績値	9	11	11	13	18	
	指標4	指標名						
		説明						
単位								
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	5,994	6,238	6,154	11,749	20,396	10,082
	人件費	12,712	12,367	6,850	9,221	10,675	10,890
収入	特定財源	166	136	83	173	163	252
	一般財源	18,540	18,469	12,921	20,797	30,908	20,720

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	子ども大学ふじみ野の開校	総合テーマ：共に生きる社会の理解 令和4年度のテーマ：学校では学べないSDGs最前線！！ 対象：小学校4年生から6年生 実施日：令和4年9月24日、10月23日、11月26日	市内の金融機関及び商業施設の協力を得て実施し、21人が参加した。受講者は商業施設内の探検や防災に関する実技を通して、身近なところにあるSDGsに気づき、重要性を学ぶことができた。	生きがい推進事業（一部）
取組②	市民大学ふじみ野の開催	地域での学びの促進と人材育成を目標に、NPOとの協働により市民大学ふじみ野において講座を開催した。また、市民が市民に対して教え・学ぶ、双方向の学びの枠組みである「学び合い講座」の講師募集説明会を開催した。	21講座を開催し、350人が参加した。身近な内容から専門的な内容まで幅広いジャンルを揃え、市民ニーズの高い講座を実施し、知の好循環の一助となった。学び合い講座の講師募集説明会には、9人が参加した。	市民大学ふじみ野運営事業
取組③	生きがい学習ガイドブックの作成	令和3年度末から、生きがい学習ガイドブックに掲載する情報を公民館等の利用団体や各課・関連団体から集め、6月中旬に2,000部を発行し、市内各施設で配布をした。	サークル加入及び活動に関する問合せが147件あり、市民活動への参加に繋がった。生きがい学習まちづくり出前講座を11件実施し、市民の学習ニーズに応じた。生きがい学習ボランティアは5件の派遣を行い、市民が培った能力を地域に還元した。	生きがい推進事業（一部）
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	子ども大学ふじみ野は、市内の小中学校4年生から6年生を対象に、3年振りに対面による講義を実施した。金融や商業実務に携わる人や防災士及び専門研究をしている人からの講義を受け、生きた知識を得ることができた。また、受講者同士で協力し、施設内の探検や実技を行うことで、学校間や他学年の児童たちと交流を図ることができた。
行政資源の活用	市民大学ふじみ野は、市民で構成されているNPOに業務委託し、市民協働で運営をしている。市民大学ふじみ野では、「市民の学び 地域の学び 知の好循環」をテーマに、学びを地域への活動に繋げ、地域での活躍のきっかけとなる講座を実施してきた。令和4年度は、小中学校の学習支援活動に参加する人を養成する「スタディ・サポーター養成講座」を実施した。修了生の今後の活躍が期待できる。また、市民が市民に対して教え・学ぶ、双方向の学びの枠組みである「学び合い講座」に関し、令和3年度に募集した講座を2講座実施した。令和4年度も講師募集説明会を実施したところ9人が参加し、令和5年度の実施に向け調整をしていく。
取組の有効性	市民が生きがい学習の情報を得る手段の一つとして、「生きがい学習ガイドブック」を発行し、多くの方に配布することができた。今後においても、より市民に活用していただくために、生きがい学習ガイドブックの存在の周知を図るとともに、活用しやすい紙面づくりに努めていく。
効果	
効果が得られている	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	生きがい推進事業		前年度の方向性
			継続
重点プロジェクト	"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト		
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～	
	施策	05 生きがい ー市民のみなで学ぶ、地域で学ぶを推進しますー	
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費		
所管部課	市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	星野 光
事務事業期間	平成27年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	地方自治法、ふじみ野市生きがい学習推進委員会設置要綱、ふじみ野市生きがい学習推進計画審議会条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	多くの市民に学ぶことの重要性や必要性を認識していただくとともに、生涯学び続けたいという意識を高め、学んだ知識を通じて地域で活躍できる人材の育成を図るため事業を展開する。	
	事務事業の経緯	生涯学習分野については従来の教育部局にとらわれず、他の分野と有機的に連携した施策展開を行うため、平成27年度から市長部局に移管された。ふじみ野市で取り組む生涯学習推進体制を「生きがい学習」と称し、事務事業としての位置づけを行ったものである。平成29年度に市民カレッジ及び市民企画講座は、市民大学ふじみ野運営事業へ移管した。	
	事務事業の概要	①第2期生きがい学習推進計画の策定 ②生きがい学習まちづくり出前講座：行政の取組、情報発信の仕組の一環として実施 ③子ども大学ふじみ野：小学4～6年生を対象とし、学校で学べない専門的カリキュラムを実施 ④生きがい学習ボランティア人材登録制度：様々なボランティアを募るための登録制度を実施 ⑤生きがい学習ガイドブックの発行：サークル等、学びの情報提供の一環として年1回情報誌を発行	
	令和4年度の主な取組	①令和4年度から2か年をかけて第2期生きがい学習推進計画を策定する。令和4年度は生きがい学習推進委員会会議及び生きがい学習推進計画審議会会議をそれぞれ3回実施し、市民アンケートと団体アンケートを実施した。 ②生きがい学習まちづくり出前講座を11件実施した。 ③子ども大学ふじみ野は3日間開催し、21人が参加した。 ④生きがい学習ボランティアを5人派遣した。 ⑤令和4年6月に「ふじみ野市生きがい学習ガイドブック2022」を発行し、サークル加入等に関する問い合わせを147件受け、サークル加入の橋渡しをした。	

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.36	0.53	0.56
		人件費	2,862	4,222	4,451
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費計	2,862	4,222	4,451		
事業費	報酬※	0	104	207	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	140	114	159	
	委託料	0	2,348	3,081	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	80	80	80	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	38	78	96		
支出合計		3,120	6,946	8,074	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源	3,120	6,946	8,074		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		27	61	70	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	生きがい学習受講生数		
	説明	生きがい学習まちづくり出前講座、生きがい学習ボランティア派遣による学習、子ども大学ふじみ野の参加者数は、事業目的に対する関心度や効果を反映するものとして見なせ、市民の生きがい学習を推進する指標となるため。		
活動	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	440	470	500
	実績値	339	286	
指標 2	指標名	生きがい学習まちづくり出前講座の実施メニュー数		
	説明	出前講座の実施メニュー数は、情報発信の仕組みづくりや地域社会との情報交換の仕組みづくりの一環として事業目的の効果度が図れるため。		
活動	単位	件		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	35	35	35
	実績値	26	27	
指標 3	指標名	生きがい学習ボランティアの活動実績数		
	説明	生きがい学習を支援するボランティアの活動実績数。市民による生きがい学習の機会を創出する指標となるため。(指標の数値は制度を一部改正した平成27年度からの累計)		
成果	単位	回		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	20	25	30
	実績値	13	18	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【実施内容】
	<p>①生きがい学習まちづくり出前講座 メニュー数27件、申請件数11件、実施件数11件、参加者数189人</p> <p>②子ども大学ふじみ野 文京学院大学、東入間青年会議所、ふじみ野市で実行委員会を組織している。令和4年度は株式会社埼玉りそな銀行上福岡支店とイオンタウンふじみ野の協力も得て、3日間（9月24日、10月23日、11月26日）開催し、21人が受講した。 ・総合テーマ「共に生きる社会の理解」 ・令和4年度のテーマ「学校では学べないSDGs最前線！！」</p> <p>③生きがい学習ボランティア登録制度 ・登録ボランティア数 団体3団体、個人35人 ・講座申請件数5件、実施件数5件 ・市民大学ふじみ野「学び合い講座」の講師として5人が活躍した。</p> <p>④ふじみ野市生きがい学習ガイドブック2022 2,000部を6月上旬に発行し、市内公共施設に配架した。電子データは市HPに掲載した。掲載されているサークル・団体情報については、147件の仲介を行った。</p>
	【効果】
	生きがい学習ガイドブック2022の発行や各種事業の実施により、学びの情報を提供し、市民の生きがい学習意識の向上を図ることができたと考えられる。

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和6年度に更新を迎える「生きがい学習推進計画」の策定を令和4年度から2か年をかけて行っている。市民の皆様が生涯を通じて学習していきたいという意識を高め、地域で活躍できる学びを推進するため、現在の社会情勢を加味した計画として見直す。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民大学ふじみ野運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト		"オールふじみ野"まちづくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～			
	施策	05 生きがい ー市民のみなで学ぶ、地域で学ぶを推進しますー			
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 10コミュニティ活動促進費			
所管部課		市民活動推進部 協働推進課		評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成28年度～		評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	「市民の学び 地域の学び 知の好循環」を基本理念に、市民による市民のための学びの場を提供する。「市民」「地域」「市民大学ふじみ野」が連携を図り、有機的に結合することによって、地域の課題解決策の提案や実践していく人材育成を行い、もって「知の好循環」を目指す。			
	事務事業の経緯	市民と地域と行政が連携しながら、各々の学習内容を地域活動によって還元することを原則に、更なる学びの推進と地域力の向上に資するとともに、地域課題の解決方法の提案、実践する人材を育成しながら「知の好循環」を目指すことを目的に、平成28年度に開講し、令和4年度で7年目を迎えた。			
	事務事業の概要	市民大学ふじみ野の実施主体は市であるが、市民のニーズを的確に把握し、迅速かつ柔軟性のある運営を推進するため、平成28年1月に設立された特定非営利活動法人ふじみ野みらいに講座等の企画運営や市民大学ふじみ野の事務局運営を委託形式により行っている。 市民大学ふじみ野の理念に沿った専門性の高い講座から人気の講座までを実施する「レギュラー講座」、市民が市民に対して教える、双方向の学びの枠組みである「学び合い講座」、会場を講義室外に移し、市民大学ふじみ野の周知を図る「特別公開講座」で構成されている。			
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> レギュラー講座：専門性の高い講座から人気の講座までを9講座開講。地域の歴史を知ろう「砂川堀物語」では、実際に現地を歩く体験型の講座を実施した。 学び合い講座：令和3年度学び合い講座講師募集説明会の参加者より提案された企画11件のうち、3件の講座を実施した。（うち1講座は申込者が規定数に達せず未実施） 新型コロナウイルス感染拡大防止対策：レギュラー講座及び学び合い講座は、受講者定員20人を10人とした。 特別公開講座：社会教育課や高齢福祉課、文京学院大学と共催で実施した。 			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.41	0.42
		人件費	3,259	3,346
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		3,259	3,346	3,339
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	0	0
	委託料	3,477	3,553	3,561
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	0	0	0	
支出合計		6,736	6,899	6,900
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	162	136
一般財源	6,574	6,763	6,720	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		57	59	58

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民大学ふじみ野講座数		
	説明	市民大学ふじみ野で実施されるコースの数(学び合い講座、特別公開講座を含む)は、事業の目的に掲げる人材育成を充実させていく取組みの指標として見なせるため。		
活動	単位	講座		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	25	25	25
	実績値	19	21	
指標 2	指標名	市民大学ふじみ野受講者数		
	説明	市民大学ふじみ野で実施する各種講座の受講者数は、事業目的に対する関心度や事業効果を反映するものとして見なせるため。平成30年度より、特別公開講座(旧市民カレッジ)及び学び合い講座(旧市民企画講座)を受講者数に追加する。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	340	340	340
	実績値	145	350	
指標 3	指標名	市民大学ふじみ野の修了生の活動実績数		
	説明	市民大学ふじみ野を受講し、その知識や技術を活かして地域活動に参加した回数。受講後、学んだ経験を地域へ還元する指標となるため。(平成28年度から実施している事業。指標の数値は累計)		
成果	単位	回		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	60	80	100
	実績値	108	159	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【実施内容】</p> <p>①レギュラー講座…市民大学の理念に沿った専門性の高い講座や人気の講座等、基本となる講座。 ・前期：4講座(受講者45人)・後期：5講座(受講者48人) 修了生の活躍が期待できる講座として、学習支援のボランティアを養成する講座を実施した。</p> <p>②学び合い講座…市民が市民に対して教え学ぶ、双方向の学びの枠組み。 ・前期：3講座(受講者24人)・後期：5講座(受講者41人)</p> <p>③特別公開講座(社会教育課共催) 令和4年7月3日(日)「ひろがるやさしい日本語の世界」参加者73人 吉開 章さん(やさしい日本語ツーリズム研究会代表)、萩元 直樹さん(サステナブルタウン代表)</p> <p>④特別公開講座(文京学院大学共催) ・1日目(令和4年9月8日)「やる気のヒント」参加者38人 文京学院大学保健医療学部作業療法学科准教授 田中 秀宜さん ・2日目(令和4年9月9日)「コラーゲ療法の体験」参加者27人 文京学院大学人間学部心理学科准教授 東 知幸さん</p> <p>⑤特別公開講座(高齢福祉課共催) 令和4年9月17日「ささえよう認知症」映画・講演会 参加者54人 講演会「認知症の人の心」富家病院臨床心理室 根生 一治さん 映画会「ゆめのほとり～認知症グループホーム福寿荘～」</p> <p>⑥学び合い講座の講師公募説明会 令和5年1月25日(水)実施、9人参加。 7件の企画書の提出があり、令和5年度の講座実施に向け、調整を進めている。</p> <p>【効果】 市民ニーズに合った講座を提供でき、「知の好循環」の一助を図れたと考えられる。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市民ニーズに合った講座や人気のある講座を展開できているが、カリキュラムの固定化が見受けられることから、学び合い講座の講師募集説明会をきっかけに、多種多様な講座展開に努める。引き続き、NPOと連携し、市民大学ふじみ野の目的である、市民力・地域力の向上を目指し、人材育成や地域還元が図れる講座、市民の学習意欲を刺激する魅力のある講座を実施していく。
中長期的方向性	
継続	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民憩の森管理運営事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	05 生きがい ー市民のみなんで学ぶ、地域で学ぶを推進しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 11コミュニティ施設費		
所管部課		市民活動推進部 協働推進課	評価責任者	星野 光
事務事業期間		平成25年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市市民憩の森条例、ふじみ野市市民憩の森条例施行規則		
事務事業の内容	事務事業の目的	市民憩の森において、自然とのふれあいを通して、青少年の野外体験活動、地域コミュニティ及び異世代間の市民交流の推進を図る。		
	事務事業の経緯	平成25年3月をもって土地返還した鶴ヶ岡青少年野外活動ひろばの代替施設として、聖路加国際病院が市内に所有する山林を「使用貸借契約」により借受け、「ふじみ野市市民憩の森」を平成25年7月1日（条例施行）に設置した（平成25年7月16日から供用開始）。		
	事務事業の概要	①野外活動広場・レクリエーション広場の貸出業務 ②施設の維持管理		
	令和4年度の主な取組	・新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底を図り、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。 ・令和4年6月にナラ枯れを引き起こすカシノナガキクイムシが発見されたため、施設の休園措置及びナラ枯れ被害の疑いがある危険樹木を伐採し、利用者の安全確保に努めた。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.39	0.39	0.39
		人件費	3,100	3,107	3,100
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,100	3,107	3,100	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	202	281	311	
	委託料	7,712	13,834	2,584	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	100	3	3		
支出合計		11,114	17,225	5,998	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	11	27	72
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		11,103	17,198	5,926	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		97	151	51	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民憩の森利用登録団体数		
	説明	3月末日時点の公共施設予約システムの利用登録団体数を基礎指標とみなし、活動指標として設定する。		
活動	単位	団体		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	95	100	100
	実績値	94	101	
指標 2	指標名	市民憩の森開場日数		
	説明	条例に基づき、安全で適正に開館した日数を活動指標として設定。令和3年度及び令和4年度は、病害虫の被害を受けた危険樹木の緊急樹木伐採のため、休園措置を行った。		
活動	単位	日		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	346	344	345
	実績値	277	121	
指標 3	指標名	市民憩の森利用者数		
	説明	施設の利用率を基礎指標と見なし、成果指標として設定する。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	110,000	110,000	110,000
	実績値	6,605	3,336	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>◎施設の樹木管理の取組 令和3年度に引き続き、令和4年6月にもナラ枯れを引き起こすカシノナガキクイムシが発見された。ナラ枯れはカシノナガキクイムシにより媒介する菌が原因となり、樹木の枯死を誘引する。枯死樹木はいつ倒木してもおかしくなく、利用者の安全のため、ナラ枯れ被害が生じている木及びナラ枯れに感染する可能性がある木を伐採した。伐採は隣接する聖路加テニスコートと共に行い、安全が確認できるまで市民憩の森を全面休園とした。 休園期間：令和4年7月25日～令和5年3月21日 伐採樹木：141本(市民憩の森のみ) 根株処理：6本 伐採費用：12,775,980円(市民憩の森該当分)</p> <p>◎新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組 ・ 野外活動広場の利用範囲をポールで囲い、散策路等の利用者との接触を控えるようにした。 ・ 除菌セット等を用意し、利用者へは除菌の徹底をお願いした。</p> <p>◎事業効果 利用者が安全に施設利用ができ、市民のコミュニティ活動促進の一助になったと考えられる。</p> <p>◎利用率 レクリエーション広場：17%(休園期間を除く) 野外活動広場：87%(休園期間を除く)</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	利用者の安全・安心への取組として、樹木の適切な管理が必要である。39本の樹木生息を確認しているが、把握しきれていない樹木もあるため、樹木台帳及び樹木マップの整備を進め、適切な管理を行っていく。
中長期的方向性	
継続	